

令和4年度

横芝光町決算審査意見書

病院事業会計

横芝光町監査委員

横 監 第 1 7 号
令和 5 年 8 月 3 1 日

横芝光町長 佐藤 晴彦 様

横芝光町監査委員 押尾 幹

横芝光町監査委員 鈴木 克征

令和 4 年度横芝光町病院事業会計決算審査意見について

地方公営企業法第 30 条第 2 項の規定により審査に付された令和 4 年度横芝光町病院事業会計決算及び証拠書類、その他政令で定める書類を審査したので、別紙のとおり意見を提出します。

決 算 審 査 意 見

第 1 審査の対象

令和 4 年度 横芝光町病院事業会計決算

第 2 審査の期間

令和 5 年 8 月 2 2 日

第 3 審査の手続き

決算審査に当たっては、決算報告書、事業報告書及びその他関係書類について、決算の計数は正確であるか、予算の執行は適正で効率的に行われているか、また、財務に関する事務は公営企業法等の関係法令に準拠して作成され、かつ、事業の経営成績や財務状態が適正に表示されているかなどの諸点に留意し、関係帳簿その他証拠書類を照合精査するとともに関係職員の説明を求め、審査を実施した。

第 4 審査の結果

審査に付された事業会計決算報告書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿その他証拠書類と照合した結果、誤りのないものと認められた。

また、事業の運営は、地方公営企業の原則に留意して適性に行われ、予算の執行もおおむね所期の目的に沿って執行されたものと認められた。

なお、決算の概要及び審査意見は別途記載のとおりである。

第5 決算の概要

1 業務実績

区 分		4年度	3年度	比較増減	
病 床 数	一 般	95 床	95 床	0 床	
	医療療養	55 床	55 床	0 床	
		40 床	40 床	0 床	
年 間 延 病 床 数	一 般	34,675 床	34,675 床	0 床	
	医療療養	20,075 床	20,075 床	0 床	
		14,600 床	14,600 床	0 床	
診療日数	入 院	365 日	365 日	0 日	
	外 来	243 日	242 日	1 日	
延 患 者 数	入 院	年 間	20,452 人	22,159 人	△ 1,707 人
		1 日 平 均	56.0 人	60.8 人	△ 4.8 人
	一 般	年 間	9,855 人	10,862 人	△ 1,007 人
		1 日 平 均	27.0 人	29.8 人	△ 2.8 人
	医療療養	年 間	10,597 人	11,297 人	△ 700 人
		1 日 平 均	29.0 人	31.0 人	△ 2.0 人
外 来	年 間	34,367 人	35,255 人	△ 888 人	
	1 日 平 均	141.4 人	145.7 人	△ 4.3 人	
入院・外来延患者数		57,011 人	60,280 人	△ 3,269 人	
病 床 利 用 率	一 般	59.0 %	63.9 %	△ 4.9 ポイント	
	医療療養	49.1 %	54.1 %	△ 5.0 ポイント	
		72.6 %	77.4 %	△ 4.8 ポイント	
患者 1 人 1 日 当 たり 診 療 収 入	入 院	27,257 円	28,096 円	△ 839 円	
	外 来	8,440 円	8,586 円	△ 146 円	
医 業 収 益		965,614 千円	1,038,338 千円	△ 72,724 千円	
医 業 費 用		1,531,658 千円	1,534,423 千円	△ 2,765 千円	
収 支 差 額		△ 566,044 千円	△ 496,085 千円	△ 69,959 千円	

※1日平均の外来患者数は、各診療科目の診察日数で算出された1日平均の患者数の積算である。
 ※金額は、消費税及び地方消費税を含んだ数値である。

本年度の年間入院患者数は20,452人（1日平均56.0人）で、前年度と比べ1,707人（1日平均4.8人）の減少である。また、年間外来延べ患者数は34,367人（1日平均141.4人）で、前年度と比べ888人（1日平均4.3人）の減少であり、病床利用率は59.0%で、前年度と比較して4.9ポイントの減少である。

患者1人当たりの診療収入は、入院で27,257円（対前年度比3%減）、外来で8,440円（対前年度比1.7%減）である。

2 決算状況

(1) 収益的収入及び支出

(収益的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度 収入率
病院事業収益	千円 1,805,463	千円 1,552,356	千円 △ 253,107	% 86.0	% 92.1
医療収益	1,226,060	965,614	△ 260,446	78.8	86.4
訪問看護 ステーション収益	24,960	19,860	△ 5,100	79.6	106.7
医業外収益	554,441	559,882	5,441	101.0	103.7
特別収益	2	7,000	6,998	350,000.0	320,850.0

注：消費税及び地方消費税を含む。

病院事業収益は、予算現額 1,805,463 千円に対し、決算額は 1,552,356 千円（うち仮受消費税額 5,198 千円）である。予算現額に対する収入率は 86.0%である。

(収益的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	前年度 執行率
	千円	千円	千円	%	%
病院事業費用	1,756,019	1,600,339	155,680	91.1	94.2
医業費用	1,664,923	1,531,658	133,265	92.0	95.2
訪問看護 ステーション費用	34,514	32,340	2,174	93.7	73.6
医業外費用	55,580	36,341	19,239	65.4	81.8
特別損失	2	0	2	0.0	0.0
予備費	1,000	0	1,000	0.0	0.0

注：消費税及び地方消費税を含む。

病院事業費用は、予算現額 1,756,019 千円に対し、決算額は 1,600,339 千円（うち仮払消費税額 33,438 千円）である。

予算現額に対する執行率は 91.1%で、不用額は 155,680 千円である。

支出の主なものは、医業費用の給与費である。

(2) 資本的収入及び支出

(資本的収入)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	収入率	前年度 収入率
	千円	千円	千円	%	%
資本的収入	143,826	143,825	△ 1	99.9	91.0
企業債	0	0	0	-	0.0
出資金	24,299	24,299	0	100.0	100.0
補助金	119,527	119,526	△ 1	99.9	99.9

注：消費税及び地方消費税を含む。

資本的収入は、予算現額 143,826 千円に対し、決算額は 143,825 千円である。予算現額に対する収入率は 99.9%である。

(資本的支出)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	執行率	前年度 執行率
	千円	千円	千円	%	%
資本的支出	179,388	173,800	5,588	96.9	97.4
建設改良費	135,686	130,099	5,587	95.9	95.4
企業債償還金	43,702	43,701	1	99.9	99.9

注：消費税及び地方消費税を含む。

資本的支出は、予算現額 179,388 千円に対し、決算額は 173,800 千円である。

予算現額に対する執行率は 96.9%で、不用額は 5,588 千円である。

なお、資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 29,975 千円は、過年度分損益

勘定留保資金から補填している。

3 経営状況

(1) 収支

(総収益・総費用)

区 分	病院事業収益 (総収益)		病院事業費用 (総費用)		差引額 (純利益)	総収支比率 A/B
	金 額 A	前年度比	金 額 B	前年度比		
	千円	%	千円	%	千円	%
4年度	1,547,157	97.6	1,595,413	99.6	△ 48,256	97.0
3年度	1,584,683	100.5	1,602,378	101.1	△ 17,695	98.9

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

本年度の病院事業収益（総収益）は1,547,157千円、病院事業費用（総費用）は1,595,413千円で、本年度決算における純利益は△48,256千円である。昨年度と比較して赤字額が増加した主な理由は、外科医師が退職したことにより入院及び外来患者数が減ったこと、また、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う収益減により、赤字額が増えている状況にある。

(医業収益・医業費用)

区 分	医業収益		医業費用		差引額 (医業利益)	医業収支比率 A/B
	金 額 A	前年度比	金 額 B	前年度比		
	千円	%	千円	%	千円	%
4年度	961,132	93.0	1,498,597	99.8	△ 537,465	64.1
3年度	1,033,079	109.3	1,501,413	103.1	△ 468,334	68.8

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

医業収益から医業費用を引くと、本年度の医業利益は△537,465千円である。その損失を補填するため、他会計負担金などの医業外収益でこれを補ったものである。

なお、医業活動の成果を示す医業収支比率は64.1%で、前年度と比較して4.7ポイントの減少である。

(2) 収益

(事業収益)

科 目	4年度		3年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 病院事業収益	1,547,157	100.0	1,584,683	100.0	△ 37,526	△ 2.4
1 医業収益	961,132	62.1	1,033,079	65.2	△ 71,947	△ 7.0
2 訪問看護 ステーション収益	19,822	1.3	26,363	1.7	△ 6,541	△ 24.8
3 医業外収益	559,203	36.1	518,824	32.7	40,379	7.8
4 特別利益	7,000	0.5	6,417	0.4	583	9.1

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

病院事業収益は1,547,157千円で、前年度と比較して37,526千円（2.4%）の減少である。これを科目別にみると、医業収益は961,132千円で、前年度と比較して71,947千円（7.0%）の減少である。主な理由は、入院収益で前年度と比較して65,114千円

(10.5%)の減少、外来収益で前年度と比較して12,648千円(4.2%)の減少によるものである。

訪問看護ステーションの収益は19,822千円で、前年度と比較して6,541千円(24.8%)の減少である。

医業外収益は559,203千円で、前年度と比較し40,379千円(7.8%)の増加である。主な理由は、町一般会計からの繰入金が前年度と比較して増となったことによるものである。

(3) 費用

(事業費用)

科 目	4年度		3年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
1 病院事業費用	1,595,413	100.0	1,602,378	100.0	△ 6,965	△ 0.4
1 医業費用	1,498,597	93.9	1,501,413	93.7	△ 2,816	△ 0.2
2 訪問看護 ステーション費用	32,176	2.0	32,573	2.0	△ 397	△ 1.2
3 医業外費用	64,640	4.1	68,392	4.3	△ 3,752	△ 5.5
4 特別損失	0	0.0	0	0.0	0	—

※消費税及び地方消費税を除いた数値である。

病院事業費用は1,595,413千円で、前年度と比較して6,965千円(0.4%)の減少である。

医業費用は1,498,597千円で、前年度と比較して2,816千円(0.2%)の減少である。主な理由は、薬品費や診療材料費など経費の減少によるものである。

訪問看護ステーション費用は32,176千円で、前年度と比較して397千円(1.2%)の減少である。

医業外費用は64,640千円で、前年度と比較して3,752千円(5.5%)の減少である。主な理由は、医師・看護師等養成費や雑損失が減少したことによるものである。

4 財政状態

(1) 資産の部

科 目	4年度		3年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
1 固定資産	2,640,784	87.7	2,674,201	90.9	△ 33,417	△ 1.2
2 流動資産	370,644	12.3	267,064	9.1	103,580	38.8
3 繰延勘定	—	—	—	—	—	—
資産合計	3,011,428	100.0	2,941,265	100.0	70,163	2.4

資産合計は3,011,428千円で前年度と比較して70,163千円(2.4%)の増加である。

(2) 負債資本の部

科 目	4年度		3年度		比較増減額	増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 固定負債	121,142	4.0	158,169	5.4	△ 37,027	△ 23.4
2 流動負債	216,637	7.2	116,575	4.0	100,062	85.8
3 繰延収益	1,099,060	36.5	1,043,676	35.5	55,384	5.3
負債合計	1,436,839	47.7	1,318,420	44.9	118,419	9.0
4 資本金	2,895,051	96.1	2,895,051	98.4	0	0.0
5 剰余金	△ 1,320,462	△ 43.8	△ 1,272,206	△ 43.3	△ 48,256	3.8
資本合計	1,574,589	52.3	1,622,845	55.1	△ 48,256	△ 3.0
負債資産合計	3,011,428	100.0	2,941,265	100.0	70,163	2.4

ア 負債の部

本年度の負債合計は1,436,839千円で、前年度と比較し118,419千円(9.0%)の増加である。

イ 資本の部

本年度の資本合計は1,574,589千円で、前年度と比較して48,256千円(3.0%)の減少である。

(3) 財務比率

財政比率の推移

区 分	算 式	4年度	3年度	2年度
自己資本 構成比率	$\frac{\text{自己資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{繰延収益}}{\text{総資本 (負債} + \text{資本)}} \times 100$	% 88.8	% 90.7	% 86.9
固定資産対 長期資本比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{資本金} + \text{剰余金} + \text{評価差額等} + \text{固定負債} + \text{繰延収益}} \times 100$	94.5	94.7	96.2
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	206.4	366.5	240.6

自己資本構成比率は、総資本に占める自己資本の割合を示すものであり、この割合が大きいほど経営の安全性が高く、50%以上が望ましいとされる。本年度は88.8%となっている。

固定資産対長期資本比率は、長期の安全性を示すもので、この割合は100%以下が望ましいとされており、本年度は94.5%となっている。

流動比率は、短期債務に対する支払能力・運転資金の状況を示すもので、企業の経営上からは少なくとも流動負債に見合う流動資産があることが必要であり、200%以上が理想とされている。本年度は206.4%となっている。

むすび

令和4年度の入院の延べ患者数は20,452人(1日平均56.0人)で、前年度と比較して1,707人(1日平均4.8人)減少している。病床利用率は、一般病床が49.1%(前年度比5.0ポイント減少)、療養病床が72.6%(前年度比4.8ポイント減少)となっている。

また、外来延べ患者数は34,367人(1日平均141.4人)で、前年度と比較して888人(1日平均4.3人)減少している。

経営状況について消費税を除いた損益計算書でみると、収益では、収益の大宗を占める医業収益が前年度と比較して7.0%減少しているが、医業外収益は7.8%増加している。収益総額は37,526千円(2.4%)減少の1,547,157千円となっている。一方、費用は、前年度と比較して医業費用は0.2%、医業外費用は5.5%共に減少している。費用総額は6,965千円(0.4%)減少の1,595,413千円で、総体的な収支は48,256千円の赤字である。なお、医業収支は、537,465千円の赤字であるが、前年度と比較して69,131千円の増額赤字である。

全国でも千葉県は医師・看護師不足が深刻化しており、中でも医療過疎とされる当地域の慢性的な医師・看護師不足は、診療の縮小や休止を余儀なくされるなど、病院経営はより一層厳しさを増している中、当病院においても、医師数の減や新型コロナウイルス感染症の影響により、入院・外来ともに患者数が減少傾向にあることから、早急な対応が求められ、また、一般会計からの繰入もいまだに多額であることから、繰入金縮減に向けてなお一層の取り組みが必要である。

医師、看護師等の不足・人口減少・少子高齢化に伴う医療需要の変化等、自治体病院を取り巻く環境は非常に厳しいところであるが、地域医療の拠点として持続可能な経営を確保するよう経営改善に努められたい。